

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	健康管理増進事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課				
施 策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	今野 忠光				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市国民健康保険被保険者	意図	健康増進を図り医療費の適正化を図る。
事業内容	健康管理増進事業を実施しているNPO法人に委託して、市民の健康増進を図るための健康教育や栄養教室等を開催している。			
事業開始から現在までの状況変化	平成6年度の国民健康保険法の改正により、保健事業を行うことは保険者の努力義務とされたため、各保険者において種々の保健事業を行っている。医療費の抑制に対する貢献ができるよう効果的な保健事業を展開する必要がある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	事業参加延べ人数	1,802	1,671	1,624	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成16年度から実施している健康を支える栄養学の講習会に参加した方が「健康を支える会、流山」という自主グループを立ち上げ、ボランティア活動として、健康を支える栄養学を進めるようになり、平成26年に「NPO法人健康を育てる会・流山」となった。
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,907,070	3,080,334	2,998,364	
事業費(b)(円)	2,563,820	2,744,734	2,668,764	
うち一般財源	2,563,820	2,744,734	2,668,764	
職員給与と費(c)(円)	343,250	335,600	329,600	
人役・職員(人)	0.05	0.05	0.05	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	食生活を通しての健康の維持促進、医療費抑制に有効な事業として、栄養学を中心とした事業を実施。	③取組における課題(Check)	事業の成果を数字で表すことは難しい。被保険者の健康増進を図るため、当事業についての周知を広める。
②H30に実施した取組(Do)	「健康を支える栄養学」に基づく調理学習や講演会等を実施。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	医療費適正化に資するため、健康増進事業を継続して実施し、事業の周知を図る。